

あうみネット

あうみネット

Communication Paper for Voluntary Network in Ohmi



人と人を結ぶ♥ ネットストーリー

「情報公開って？」編
作 杉尾尚子



TOPICS

「情報公開とNPO」

【囲み記事】滋賀県情報公開条例の概要

淡海ネットコラム

淡海ネットワークセンターの役割

スポットライト

- 近江八幡琵琶湖ヨシ笛アンサンブル
- 輝くひと・まちネットワーク滋賀
- ふらいぱん

市民&企業&行政ネット

め・と・て・と・ねっと TMエルテ株式会社
「企業も一市民である」を理念に、資源循環型社会を提唱。

★21世紀・座談会

あうみネット編集ボランティアが語る

「市民活動される皆さんとの出会いは 自分たちのステップアップにつながります」

「あうみネット」編集ボランティア会議 定期開催のお知らせ

心をむすんで リレーエッセイ

●縁は異なるもの味なもの●

- 淡海ネットワークセンターブックレットのご紹介
- 淡海ネットワークセンター利用ガイド

伝言板 3月・4月 FAXアンケート

センターインフォメーション

SPECIAL ISSUE!

2001.3
March
No.22

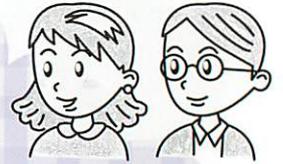
特別号

淡海ネットワークセンター

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。



情報公開とNPO



滋賀県の情報公開制度が始まって、この3月末で丸13年。
 この間、情報公開法が制定されるなどの変化を踏まえ、これまでの公文書公開条例を全面改正し、
 新たに「滋賀県情報公開条例」が制定され、この4月から施行されます。
 改正条例の施行を控え、市民活動、NPOにとって「情報公開」がどのような意味を持つのが、
 龍谷大学法学部教授の白石克孝さんにお話をお聞きしました。



答える人

●白石 克孝(しらいし かつたか)さん
 龍谷大学法学部教授。専門は、政治学・行政学。1957年名古屋生まれ。1986年、名古屋大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得。名古屋大学法学部助手、龍谷大学法学部助教授を経て、1999年から現職。市民ウォッチャー京都前代表、きょうとNPOセンター運営委員などの市民活動にも関わっている。

1. ■滋賀県情報公開条例の特徴
 まず、滋賀県情報公開条例をご覧になった感想からお聞きしたいと思います。

今 回の改正条例は、今までの情報公開に関わる議論の高まりやその必要性に対する認識が変わってきていることがよく分かる展開になっています。とりわけ、知る権利の尊重と行政の説明責任についてきちんと明示されていることが、この間の行政の変化の象徴だと言えます。

内容的には、請求対象の公文書の範囲を広げるとともに、従来は公開の対象外とされていた公安委員会や警察本部長を実施機関に含めたこと、あるいは県の出資法人にも触れている点がまず挙げられます。また、情報は誰にとってもアクセスできる必要なものという位置づけがされ、請求権者も誰でもよいとなったこともひとつのポイントだと言えます。もう

ひとつの大きな改正点は、政策形成過程に県民の参加をと単にうたい文句で言うだけでなく、その制度的な保障を盛り込んでいる点だと思えます。滋賀県の情報公開条例は、全体として積極的な内容を持つていると思います。こうした動きが、市町村での情報公開の遅れに刺激を与えることを期待しています。

2. ■情報公開の持つ時代的意義
 情報公開の意義は、時代によって変わってきていると思うのですが、いかがでしょうか。

情 報公開はまず行政の不正を摘発することに活用されました。最初の段階ではそれは非常に意味があったと思いますが、徐々に情報をどう活用していくかということに重点が移ってきています。意思形成過程に対して県民やNPOがいろいろ発言し、関与できないかと考える動きが出てくるのは当然だと思えます。ただ、請求件数はそれほど多くないというのが現状です。しかし、請求件数が少ないことだけで、県民の意識が低いと判断するのはどうかということです。

情報公開請求は、一般的には摘発型と政策形成型という2つの意義づけだけとされていますが、実はそうではなく、もう1つ大きな意味があると思います。それは、絶えず見られているという意識を行政が持つことで、行政は自らのスタイルを変えざるを得ないということです。公開請求されなくても、いつ、公開請求されてもよいような行政のあり方をつくるのが一番必要なことだと思います。透明性を高め、説明責任を果たす、こう

した情報公開に対する緊張感の高まりが行政を良い方向に変えるのです。行政は情報公開制度を自己改革、自己革新のチャンスだと積極的にとらえないとだめですね。その上で、行政を信頼した県民が、意思形成にどう一緒に関わっていくのかということになると思います。

3. ■NPOにとっての情報公開
 それでは、NPOにとっての情報公開の意味づけをどう思われていますか。

N POとのパートナーシップということが言われますが、パートナーになるには力、資源が必要です。それがなければ単にいいように使われているに過ぎない。では、NPOの力、資源はどこにあるのかと言うと、専門性とかいろいろ言われますが、それよりも大事なことはNPOが人々の間に根をおろしていることだと思えます。これを行政がやることとてつもなくコストがかかるし、うまくまとめられるかという点で不安もある。企業にもなかなかできることではない。ですから、人々の中に根をおろすということが第一の条件で、その次にどのようなことが実現するのかというアプローチを示すことが必要です。そのためには、専門知識も要るかもしれないし、お金も要るかもしれない。いろいろなものが必要なのですが、その中に情報ということが当然入ってくるわけです。だから、情報が閉ざされていると共有できないということになり、ハンデを背負うことになってきます。情報公開に消極的な相手とはパートナーシップはつくれないのです。

4.

県内のNPOの半数以上は、1つの市町村を活動エリアとしているのですが、NPOが地域に根をおろすということだと、市町村との関係も大切になってきますね。

NPOが人々と根づいて活動するということは、当然、地元の基礎自治体との関係が重要となってきます。そこに参加の仕組みやパートナーシップの基礎条件がつけられていないとまずいと思います。ですから、基礎自治体である市町村が、参加のための条件づくりである情報公開条例を持つておくということは、NPOにとっても重要な課題だと思います。

5.

■NPOがいきいき活躍できる社会とは？
NPOと行政がパートナーシップを組んでいくためには、その基礎として情報公開があるということですね。

NPOがいきいきと活躍できる社会とはどんな社会かを考えてみますと、それは、人々の生き方など、いろいろな部分で選択の自由度が広い社会だと思います。従来の企業・行政サービスだけではカバーしきれないさまざまな問題を自分自身で考えながら、自分たちの選択が従来のサービスになじまない場合でも、それ以外の選択肢が社会として用意されるような仕組みをパートナーシップでつくっていく。

では、どうやってそのような社会がつかれるのかと言うと、自分たちでいろいろな問題を決定するという住民自治への共通理解だと思います。その上で、行政、NPO、住民がそれぞれ責任を果たすということだと思います。その根幹には、自治に対する共感がないとだめで、それは自治体の政策を形成・決定するときには自治体の政策を形成・決定するときに人々がどれだけ関与できるかにかかっています。そういう選択の自由度があり、自治のあるよい社会をつくっていくためには、行政だけでは無理です。みんなとパートナーシップを組まないといけないという積極的な発想が行政にも必要です。NPOもそういう視点で情報公開というものを捉えてほしいと思います。

●おうみをかんがえる● 淡海ネットコラム

淡海ネットワークセンターの役割



淡海文化振興財団
運営会議座長
滋賀県立大学教授
仁連孝昭

淡海ネットワークセンターが活動を開始してはや4年になります。そろそろ、これまでセンターが果たしてきたこと、また果たせなかったことなどを振り返り、今後のセンターの運営について考え直す時期にきているようです。おそらく、センターでそのような作業に着手されるでしょう。そこで参考になればと、この2年間センターの運営会議に参加させていただいた経験から、得たことまた考えさせられたことについて紹介します。

センターが目指していることは、市民活動を脇から応援することですが、市民活動といっても多様な目標、組織、活動スタイル、構成メンバーを持っているために、ある団体にとっては喉から手が出るような支援サービスであっても、他の団体にとっては余計なお世話になりえます。したがって、支援サービスを増やせば役に立つということではなく、支援サービスについてどこまでするのか、してはならないのかの見極めが大事だと気づかされました。

もうひとつ、センターの事業として企業と市民活動団体とのパートナーシップをいかに進めるかということ課題として取り組んできましたが、これは難問題でまだまだ出口は見つかっていません。フィナンソロピー活動の一環として地域社会に貢献する活動を位置づけている企業もあれば、まだ何も取り組んでいない企業もあります。市民団体側からは企業に物材や資金の寄付を申し出ることがせいぜいです。いずれにしろ、一緒に何かをするという経験をまだ持ちあわせていないというのが実態です。この2年間で企業と市民活動団体の交流の場を4回持ちましたが、まだ顔合わせをしたという段階です。これからは地域の課題や共有できるテーマでの交流を通じてパートナーシップの可能性をさくることになるでしょう。

最後に淡海ネットワークセンターを通じて確実にNPOのネットワークが広がっていることが実感できました。また運営会議ではじめて顔を合わせたメンバーの中から新しいNPOも生まれました。センターの事業のひとつである「おうみ未来塾」からも市民活動のリーダーが育っています。市民活動の発展にとって脇役ですが、有効な役割を果たすセンターに期待しています。

滋賀県情報公開条例の概要(主な改正点)

- 条例制定の理念、考え方を前文として新たに置くとともに、知る権利の尊重と県の説明責任を目的に明記した。(前文、第1条)
- 実施機関に新たに公安委員会、警察本部長を加えた。(第2条第1項)
- 請求の対象となる公文書の範囲を拡げ、決裁後の文書に限定せず、組織的にもちいるものとするともに、電磁的記録を新たに加えた。(第2条第2項)
- 公開請求できるものの範囲を拡大し、県民等に限らず、何人もできることにした。(第4条)
- 条例の原則公開の趣旨を明らかにするため、公開義務の規定を明示するとともに、非公開情報のうち、意思形成に支障を生ずる情報の非公開要件を限定的な規定に改めた。(第6条)
- 非公開情報が含まれる公文書であっても、公益上特に必要がある場合は公開できることとした。(第8条)
- 不服申立てについて、実施機関からの諮問に応じて調査審議する滋賀県情報公開審査会の委員に、県民から公募した者を入れることとした。(第22条第3項)
- 県の基本的な政策を立案しようとする場合、県民の意見を求めることにより、県民の意見を反映する機会を確保することとした。(第32条)
- 実施機関に置く附属機関等は、原則として、その会議を公開するように努めるものとした。(第33条)
- 県が出資している法人は、その保有する情報の公開に必要措置を講ずるよう努めなければならないこととした。(第34条)

先人の残した美しい琵琶湖を守りたい・・・ 琵琶湖の土と水の音色がする「ヨシ笛」をよろしく

琵琶湖のヨシで笛が作れないか・・・そう考えた人がいました。

近江八幡かわらミュージアム館長の菊井さんです。音楽好きが高じて地場産業の八幡瓦を使った打楽器「瓦奏琴(がそうきん)」を作り、今度はヨシ笛を考案、自ら手作りして演奏もしています。ヨシはアシとも呼ばれるイネ科の多年草で琵琶湖岸に多く自生し、古来よりすだれや建具などに利用されてきました。水中の空

素やリンなどを栄養分として吸収するので、琵琶湖の水質を浄化する働きがあります。「環境問題を考えるきっかけにもヨシ笛は最適だと思いますね」

ヨシ笛アンサンブルのメンバーは14人。かわいいう小学生も参加しています。平成11年の秋にメンバーを公募、12年の春から活動を開始しました。小学生が使うリコーダーのような縦型のヨシ笛は、クリスタルアルファ

の音で、素材で自然な音色がします。音色です。「太さ、長さ、穴の大きさ、間隔、この4つがそろって初めて音が出ます。良い音が出る笛を作るのは難しいですね」菊井さんが10本つくっても、納得できるのは2、3本ほどしかないとか。

滋賀県産の素材を使った楽器ということでTVにも紹介され、去年の



●ヨシ笛作りや作曲も手掛ける代表の菊井さん

秋、初めてのコンサートも開きました。6月24日には、近江八幡市文化会館で琵琶湖の魚や小鳥を主人公にした「琵琶湖の湖」というバラエティー狂言の公演があり、その舞台でも演奏します。現在、演奏者を募集中のこと。「美しい琵琶湖を意識するためにも、たくさん愛好家が出てきて、各地にサークルが生まれて欲しいですね」

(編集ボランティア 松井由美子)

近江八幡琵琶湖 ヨシ笛アンサンブル

代表 菊井了さん
TEL 0748-33-8567
近江八幡市 多賀町738-2
人数/14人
設立/2000年



●ギターの伴奏に合わせて練習曲を奏でるメンバーの皆さん

輝くひと・まちネットワーク滋賀

ネットワークに刺激を与える 「プラスアルファ」の活動を



市民活動やボランティアのグループでは通常、何か明確な問題意識や目的を持ち、その問題の解決、目的の実現に向かって様々な活動を行っています。でも県内には、その法則に当てはまらないのに、確実に活動が続いているグループがあります。それが、「輝くひと・まちネットワーク滋賀」(通称「ひと・まちネット滋賀」)です。

「ひと・まちネットワーク滋賀」が誕生し

●発行している情報誌と、このほど出版した「我らネットワーク元気人」。

たのは、1995年6月。その前年に開催された県主催の淡海文化交流会の席上、「滋賀県全体でどういう人が市民活動に関わっているのか知っているようで知らない、自主的に集まって情報交換の場が必要ではないか」との提案があったのがきっかけになり、有志が集まり検討を重ね、翌年、ネットワーク組織として発足しました。

会員は現在120名。しかし、会員が固定していることはなく、その時々を反映し、様々な人が情報交換や新たな出会い、刺激を求めて出入りしています。「ひと・まちネット滋賀」としての活動は、年2回の交流会、情報紙の発行が中心で、昨年

10月にこれまでの活動を総括する意味で「我らネットワーク元気人」という本を出版しました。

「ひと・まちネットワークでは、まず個々の主体性、個人の自主的な活動がベースとなります。」



●代表幹事の織田さん

をすることにより、新たな刺激や励みとなる部分が出てくる。そのプラスアルファを担うのがひと・まちネットワーク滋賀です」と代表幹事の織田さん。「今まで地味だがこつこつと5年間活動を続けてきた。今後、このまましていくのか、あるいは、もう少し組織的にNPOサポートやコンサルティングといった活動を行うのか、メンバーの議論は続いています。」

輝くひと・まちネットワーク滋賀

代表幹事 織田直文さん
TEL・FAX 0748-33-5576
人数/120名 設立/1995年

ライト

LIGHT!

まちづくり・・・

に活動されている方々に活動を詳しく紹介します。

! SPOT

環境・福祉・

滋賀県内でキラキラ元気
スポットライトをあて、その



●お父さんのための料理教室

と代表の山川さん

後姿で伝えています。

も達にも料理の大切さを

い賢い調理で、子ど

ます、でも要領のよ

病気の源です。手間を惜し

料理は家族を円満にし、

バランスのとれた家庭

です。愛情いっぱい

お惣菜や即席材料が並ん

でいますが、これらは添

加物が多く、味も単調

生かし地域に貢献しています。

「スーパードにはたくさん

への参加などサークルの特色を

健康レシピ集の編集や、ケーブルテ

活動のほか、町栄養士の協力を得て、

献立」「生活習慣病予防」など毎年

テーマを決めての月一回の定期的な

活動のほか、町栄養士の協力を得て、

健康レシピ集の編集や、ケーブルテ

活動のほか、町栄養士の協力を得て、

献立」「生活習慣病予防」など毎年

テーマを決めての月一回の定期的な



●これまでのレシピをまとめたもの

さんです。

(編集ボランティア 清水奈美)

健康づくり自主グループ「ふらいばん」

代表 山川幸子さん

TEL 0748-62-5336

甲賀郡水口町水口5607(水口町保健センター)

人数/17人 設立/1984年



●代表の山川さん

愛情のこもった家庭料理を通じて、
地域に根付いた活動を展開

ふらいばん



め・と・て・と・ねっと★

市民&企業&行政ねっと

TMエルデ株式会社

「企業も一市民である」を理念に、資源循環型社会を提唱。

「環境基本計画の理念は『循環』『共生』『参加』『国際的取り組み』の4つが柱になっていて、私たちが重要視したいのは『参加』です。住民の環境への積極的な参加こそが、資源循環型社会を実現可能にするのです。そして、この住民には企業も含まれるということです」と話されるのはTMエルデ株式会社の片山専務。「企業も一市民である」という理念から、ただ機械を売るだけではなく、静脈系社会システムを構築し、地域住民と共有することを目指しています。まず、TMエルデで取り組んだのは生ゴミ再生処理装置。「生ゴミ」を発酵・分解させると、有機栽培などに有効なドライコンポストと呼ばれる培養土になるというもの。片山さんは住民に負荷を与えず、市場品をさらに高品質のものにリサイクルしていくことが、循環型社会に繋がると言います。



●各地で積極的に講演活動も行う専務取締役の片山由文さん

そして、さらにリサイクルを地域商業振興に貢献するものとして考案したのが、空き容器回収システムです。空き容器を投入するとカードまたはチケットにポイントが加算され、商品と交換できるといったもので、県内では1999年に湖北町商工会が行政と共同で導入。他に木之本町や草津市にある立命館大学びわこ・くさつキャンパスでこのポイント制を取り入れ、それぞれの環境に合わせたシステムを展開しています。最終的にはメーカーが協力してデポジット制の導入に繋がることが目標に、一市民としてリサイクル運動を呼び掛け積極的に参加しています。



●お問合せ/TMエルデ株式会社

TEL.0749-24-7101 FAX.0749-24-7108

http://www.biwa.ne.jp/erde E-mail:erde@mx.biwa.ne.jp

おうみネット編集ボランティアが語る

「市民活動される皆さんとの出会いは自分たちのステツプアップにつながります」

この「おうみネット」は「スポットライト」や「トピックス」などの取材やコピーなど、編集ボランティアの皆さんにお手伝いして頂きながら、滋賀で市民活動する人たちのネットワーク作りのための情報誌として発行し、今年で4年目を迎えます。お世話になってる編集ボランティアの皆さんの淡海ネットワークセンターとの出会いや編集ボランティアとしての活動するきっかけ、さらに自分としてステツプアップしたことなど、「おうみネット」を通して見るご自身を語って頂きます。



「他のことでは講座などを『受ける』立場ですが、男女共同参画社会づくりは自分の方からプッシュしようと思って活動しています」
大山純子さん 彦根市在住 フリーライター

■おうみネットの編集ボランティアに参加するきっかけは？

大山 彦根で12年間タウン紙の編集をしており、おうみネットの前身、淡海文化交流会にも参加していました。今はフリーライターですが、センターの方から声をかけられて3年前に編集ボランティアに加わりました。

石田 私も、3年くらい前からですね。ちょうど、いろいろと市民活動をしている中で、もう少し新しい広がりを持ちたいと思っていた時期で、その時、設立間もない「淡海ネ

ットワークセンター」の看板に目が留まって、飛び込みで参加しました。

松井 私は企業がお客様向けに発行するミニコミ誌づくりを10年以上手がけているのですが、たまたま県立女性センターに行つたときに「おうみネット」を手にとって見たのがきっかけです。その時淡海



●松井さんが取材した「日本イヌワシ研究会」(1999年7月12号)

ネットワークセンターで編集ボランティアを募集しているのを知り、新しい知識を得るよい機会になると思つて、参加することにしました。

美濃部 私は東京の教育出版社でずっと出版に関する仕事をしていたのですが、4〜5年前に母親の具合が悪くなりまして、郷里の守山に帰ってきました。それで家庭の主婦として毎日を過ごしていたんですけれども、漫然と家事だけしているのが少し辛くなつてきて、あるとき思い切つて県庁に電話して、編集の経験が生かせるボランティアは

ないかと伺つたところ、淡海ネットワークセンターを紹介されたんです。こちらに正式に参加したのは去年の夏からで、まだ取材はしていませんが。

清水 私はチラシを見て興味を持ったんです。結婚する前は静岡県に住んでいました。福祉関係の仕事をしていました。それで、仕事からボランティアとかNPOという活動については聞いていたんですが、ここに来てチラシを見て、そういえば前の職場で少し勉強したなあ、と思いついて、何かしたいと考え、申し込みました。

■今まで取材された中で、印象に残っていることや影響されたことはありますか？

松井 3年近く前に「2007年守山の老後を考える会」を取材したことがあるんですが、介護保険の導入前で、私の勉強不足から取材の中で、すぐお叱りを受けたことが



「市民活動が、大きな世界で活動している人と、小さな世界で生きている人との交わりの場になればいいなと思います」

清水奈美さん 大津市在住 主婦



「みなさん、仕事や家庭を持ちながら活動されているので、話を聞いて励まされる部分も多いですね」

松井由美子さん 守山市在住 フリーライター

「『おうみ未来塾』に2年間かかわらせてもらった中で、滋賀県で活動しているキーマンと会えて、人脈がぐっと広がりました」

石田和子さん 大津市在住 社会科講師



ありましたね。取材を通して「目から鱗」という体験があったり、元気をいただいたりといういろいろな影響を受けています。特に女性で元気がある人というのは、見習うところがたくさんあります。

みなさんそれぞれ、仕事や家庭を持ちながら活動されているので、話を聞いて励まされる部分も多いですね。また、「日本イヌワシ研究会」も印象に残っています。お話をきいて、食物連鎖が私たち人間にまでつながっているということがよくわかりました。

清水 私も元気な方と会いたくて、やってみようと思ったのかもしれないね。その方の、元気の源を上手に聞き出したいと思っています。

石田 私は今まで男性って「仕事を持っていたら市民活動なんてできないだろうな」という感覚でみていましたが、仕事をしながらアトピーの会を作ったり、「メディコフ滋賀」という、医療の現場の人たちが市民病院で取り組んでいる、外国人向けの医療のボランティア活動を取材すると、男性に対する見方が変わりました。

大山 私が取材した「遊林会」の武藤さんが言っておられたのは、自分は行政の職員で、緑の推進ということにすごく情熱を持っている、けれども

美濃部 私はまだNPOについて詳しくわからないので、感じていただくことや自分のやりたいことだけお話しします。全国的に問題になっているゴミ問題、そして昨年の屋台村で紹介された、「相互扶助」精神に根ざした地域通貨に興

清水 今、私が取材したい分野というと、育児真っ最中の世代の方の活動についてですね。育児と自分の時間を上手に両立されている方のお話を伺ってみたいと思います。そして、記事を通し、若い方に、少しでも、NPOや市民活動に興味を持ってもらえたらと思います。

■みなさんが関わっておられるNPOや、興味をもっておられる分野はありますか。

松井 私の場合、児童虐待の問題を取り扱っているグループを取材したときは、すごくショックを受けました。取材してはじめて、そういう問題が身近にあるということを意識しました。ある意味子ども問題と環境問題というのは根っこでつながっていると思うので、今一番身近な問題として興味を持っていますね。



●松井さんが取材した「2007年守山の老後を考える会」(1998年11月8号)

取材してみたいなと思います。あと、松井さんも言われたように、エイズ問題や虐待、ドメスティック・バイオレンスの問題など、社会性のあるテーマに沿って活動している人たちとも出会いたいなと思います。



●1997年8月創刊号～2000年3月号

石田 今まで取材のなかった方向、という視点からいうと、社会参加している企業が最近増えてきているので、私企業の取り組みなんかも、もっと

味を持ちました。そういうところを取材したり、自分でも勉強したりしていきたいなと思っております。

石田 私もいろいろと関わっているのですが、その中で印象に残っているのは「おうみ未来塾」ですね。二年間びっちりとかかわらせてもらった中で、滋賀県で活動していらっしゃるキーマンと会えて、人脈がぐ

大山 私は男女共同参画社会に関する活動です。「女性も議会にバックアップスクール滋賀」の事務局をしたのがきっかけに活動が広がりました。男女共同参画基本法の施行をうけて勉強会を重ねこの1月に私たちのグループで県条例の案を公表しました。横並びの決まり切ったような条例でなく、本当に市民が必要とすることが反映されるような条例を作ってもらいたいと考えたんです。他では、自分が行って勉強してくる、何か講座を受ける、というように「受ける」側が多いんですけども、これだけは自分の方がブッシュしようということがかかわりを持っていきます。

■みなさんは、このほかに個人的に市民活動・NPOに関わっていることはありますか？

大山 おうみネットのこれからというところで考えるならば、私自身はやっぱ、環境問題にもっとかかわりたいですね。取材をするなら自然環境保護が、一番興味のある分野ですね。そのあたりともう少しおつきあいしたいなと思います。



「まだ自分で何ができるか模索中ですが、新しい社会づくりに向けた講座などを、このおうみネットで企画できればいいなと考えています」

美濃部くみ子さん 守山市在住 主婦



●石田さんが取材した「メディコフ滋賀」
●大山さんが取材した「遊林会」
(共に2000年5月17号)



●座談会風景

つと広がったという意味では未来塾は非常によかったなと思っています。他に組織的な活動をしているのは、新日本婦人の会と世界湖沼会議市民ネットですね。新日本婦人の会では教育やダイオキシンの問題などの学習会・懇談会を開いたり、平和を守るとりくみを広げるために被爆写真を外国に送ったりすることをしています。湖沼会議は最初

に参加させてもらったときからなので、細く長くつきあっていたと思います。もうひとつは、友人の関西フィルの団員というしよに、音楽に親しむ活動をしています。滋賀県にはホールはたくさんありますが、ホールに行くというスタイルしかないの、出前の、地域の商店街やいろんな名所でするようなコンサートを展開していきたいですね。

松井 私は社会性のあるサークルには入っていないのですが、今のライターとしての仕事はもう10年以上も

やっているのです、そのおかげでいるんな人と知り合わせてもらっています。その中で、結構その人たちをつなぐことはやっているかなと思います。例えば発表の場をさがしている人に「ここでやってみたら」というような。知っている人が増えて、ネットワークが広がっていくことは、私にとって



●リニューアルした
2000年5月号～2001年1月号

財産ですね。

美濃部 私はまだ滋賀に戻ってきて5年くらいで、体が弱いものですから、活動の場として入っている団体はないんですけども、去年ここに参加させていただいて、これから自分何ができるかを模索中なんです。滋賀県というの

は、外から帰ってきて見ると、すごく古い因習の残っている部分がたくさんあると思うので、新しい社会づくりに向けた講座などを、このおうみネット企画できればいいなと考えています。

清水 市民活動をされている方は、性格的に活発な人が多いですね。でも私は、市民活動などは、もっと、誰でも気軽に参加できる場であって欲しいと感じています。私は滋賀県に嫁いできた当初、外出はままならないし、話し相手はないし、笑うことをしばらく忘れていた、とてもさびしい時期がありました。そんな自分が嫌でしたが、一歩踏み出したことも勝手が分からなまま、時間が過ぎてしまいました。だから、市民活動をもっとPRして、仲間や自分の居場所を探している人を受け入れてあげる場になればいいなと思います。大きな世界で活発に活動されている方の元気な力を、小さな世界で生きている人にも分けてあげられたら、いろいろな人が集うもっと魅力的な市民活動になるんじゃないかなと思います。

石田 そうですね。そうした広がりが、今のおうみネットに足りない部分だと思えますので、情報を欲しがっている人たちに、もっとこの情報誌が届くようなしくみ作りが、これからの課題といえるでしょうね。

心をむすんで*リレーエッセイ

縁は異なるもの味なもの

アクト21企画事務局長 白坂登世美



最近、ボランティア活動そのものに何となくモヤモヤを感じながら過ごしていたのですが、1月29日(月)雪降りしき中、福井県の越前大野へ出かけました。今まさにボランティアでまちづくりをしようとしている人達の集まりで、実践から学ぶボランティアどころがその日のテーマです。私は今までの活動を本音でおしゃべりしていたのですが、ハッと思い出したのです。「あっ、福井の大野といえば、さといもの美味しいところだ!!」生来くいしん坊の私は、さといもなら大野産と惚れ込んでいただけに、「突然ですが、大野のさといも大好きです」と強調気味に言ったところ、参加されていたお母さんから、お土産にどうぞと、どっさりいただいたのです。うふ...来て良かった。

越前大野の皆さん、ボランティア活動、絶対立ち上げてくださいね。又応援に行きま〜す。今回は大津市の寺田智次さんです。

「おうみネット」 編集ボランティア会議 定期開催のお知らせ

「おうみネット」では、皆さんの声を積極的に誌面に反映していくため、編集ボランティア会議を定期的に開催します。編集ボランティアの方以外でもご自由に参加いただけます。「おうみネット」にあなたの意見を反映してみませんか？編集ボランティアも随時募集しています。詳しくは事務局まで。

<開催日>
奇数月の第1金曜日午後2時〜

<場所>
淡海ネットワークセンター

※開催日が変更になることもあります。

淡海ネットワークセンター ブックレットのご紹介

淡海ネットワークセンターでは、わくわく市民活動ゼミナールやフォーラム、交流会などの記録をまとめたブックレットを発行しています。市民活動に関心のある方、グループで勉強をお考えの方、ぜひご利用下さい。(1冊300円送料別)



●3月上旬発行の
ナンバー13とナンバー14

- ナンバー1「私たちがひらくこれからの地域社会～新しいパートナーシップを考える～」
- ナンバー2「市民活動の意義と役割」(山岡義典)
- ナンバー3「市民活動促進のための法制度をめぐる議論」(雨宮孝子)
- ナンバー4「これからのNPO経営～おうみ市民活動交流会記録～」
- ナンバー5「NPOのための資金獲得術」(早瀬昇)
- ナンバー6「欧米のNPOの事例に学ぶ」(跡田直澄)
- ナンバー7「市民・企業・行政のパートナーシップを求めて～第2回おうみ市民活動交流会記録～」
- ナンバー8「NPOとボランティアの創造的な関係」(播磨靖夫)
- ナンバー9「NPOと市民社会～介護保険を通じて考える～」(石川治江)
- ナンバー10「現代社会と非営利組織」(北村裕明)
- ナンバー11「人も元気、活動も元気、地域も元気～第3回おうみ市民活動交流会記録～」
- ナンバー12「地方分権と市民社会」(富野暉一郎)
- ナンバー13「NPO/市民活動団体のためのボランティアマネジメント」(筒井のり子)(3月上旬発行)
- ナンバー14「日本のNPOの現状と課題」(田尻佳史)(3月上旬発行)

淡海ネットワークセンター利用ガイド

市民活動データベース登録受付中

淡海ネットワークセンターでは、県内でまちづくりや環境などさまざまな分野で活動されている団体のデータベースを作成し、このデータベースを基に、冊子「淡海NPOデータファイル」を隔年毎に発行しています。今年はその発行の年となります。センターではデータベースの登録を随時受け付けています。登録ご希望の方はセンターまでお問い合わせ下さい。また、既に登録されている方で、代表者や連絡先の変更などがあった場合につきましても、センターまでご連絡下さい。

ファックス情報サービス登録募集!

センターへ寄せられるさまざまな情報をよりスピーディーにお伝えするため、ファックス情報サービスを行っています。現在、150団体に情報をお送りしています。このサービスを希望される団体を募集します。登録は原則として団体・グループとさせていただきます(登録無料)



情報BOXを利用してみませんか

淡海ネットワークセンターには、分野を越えて手軽に交換できる情報BOXがあり、現在、131団体が相互に会報やイベントの告知などさまざまな情報を受発信されています。

あなたの団体も情報BOXを利用しませんか?
非営利の社会参加活動団体であれば無料で登録できます。
ただし、郵送を希望される方は送料1年分3600円分の切手を添えてお申し込み下さい。

市民活動アドバイザー派遣制度のご案内

淡海ネットワークセンターでは、市民活動についての様々な悩みに対して、専門的なアドバイスをする市民活動アドバイザーを派遣します。

- ◇派遣の対象は?
市民活動を行っている団体またはこれから活動を始めようとするグループ
- ◇派遣の分野は?
派遣アドバイザーの分野は、ボランティア等の市民活動に関する事項とし、主として他の支援機関が対応しない分野です。
- ◇派遣回数及び経費は?
派遣に要するアドバイザーの謝金および交通費は、1団体当たり最初の1回に限り、センターが負担します。
- ◇派遣手続きは?
1.アドバイザー派遣依頼書に、アドバイザーへの相談内容、希望アドバイザー等を記入の上、センターあて提出してください。
2.センターはアドバイス依頼の内容を検討し、アドバイザーとの調整の上、派遣を決定します。
3.派遣を受けた日から2週間以内にアドバイザー派遣報告書をセンターに提出してください。
4.活動団体等が、引き続きアドバイスを必要とする場合、センターが仲介に応じます。なお、派遣にかかる費用は団体の負担となります。

日時・場所問合せ先等を明記の上、4月8日までに
FAXまたは郵送でセンターまでお寄せください。

ギャラリー

(2) アルプラザ八日市(アピア)4階アピア情報プラザ

参加費●無料 各日先着30名
※牛乳パックは準備します。手ぶらでご参加下さい

問合せ先●0748-22-2940(徳永)
☆同時開催●徳永信子のオリジナルアート&春の押し花アート展

生きた化石・ギフチョウの観察会
4月1日(日) 10:00~

内容●ギフチョウの生息地のひとつを訪ねて、現状と保護のあり方を考えます。

場所●近江町和田「多和田会館」前集合 大谷池とその周辺にて観察会
問合せ●0749-54-0440(樋口)

里山のいきもの探検
4月8日(日) 10:00~

内容●里山を散策して春の息吹を見つける自然観察会(指導:滋賀県の会/代表:細井正史氏ほか)
参加費●無料(要事前申込み)
問合せ●びわ湖バレイ自然塾
FAX077-592-1532

里山の森の中のコンサート
4月15日(日) 10:00~ 13:00~

内容●木の笛・コカリナ、土の笛・オカリナとハーモニカの演奏
参加費●無料(要事前申込み)
問合せ●びわ湖バレイ自然塾
FAX077-592-1532

草津吹奏楽団第22回定期演奏会
4月15日(日) 14:00~

場所●草津文化芸術会館
参加費●500円
問合せ●077-564-3127(井上)
HP●<http://www5.ocn.ne.jp/~sousui/>

ネイチャーゲームと
クイズウォークラリー大会
4月22日(日) 10:00~

内容●比良山頂の森で自然にふれる(指導:びわこネイチャーゲームの会/代表:辻田良雄氏)
参加費●無料(要事前申込み)
問合せ●びわ湖バレイ自然塾
FAX077-592-1532

菜の花サミット2001
資源循環型社会へ
一田圃と里山からのメッセージ
4月28日(土) 10:30~

内容●「菜の花パレード」「菜の花イベント」「菜の花サミット」基調報告 三橋規宏さん 基調講演 田端英雄さん
会場●新旭町風車村、新旭町公民館
問合せ●菜の花エコライフネットワーク事務局
TEL0740-25-5315(貴瀬)

加古隆コンサート
4月29日(日) 15:00~

場所●ひこね市民文化プラザ
入場料●A席4000円(当日4500円) B席3000円(当日3500円)
問合せ●南彦根クリニック内NPO法人サタデーピア事務局
TEL0749-24-7808

第9回びわ湖長浜ツアーデー
参加者募集
“歩こう!びわ湖の風を襟もとに”
5月12(土)~13(日)

場所●長浜市周辺
参加費●大人1200円 高校生以下300円
申込締切●4月23日(月)
※コース等詳細はお問い合わせ下さい
問合せ●びわ湖長浜ツアーデー実行委員会事務局
TEL0749-62-3095
FAX0749-62-3097

勉強会・交流会

大津市文庫交流会
松居直講演会
「絵本・ことばのよろこび」
3月11日(日) 11:00~

場所●大津市民文化館(歴史博物館隣)
参加費●無料(保育料200円要申込・20人まで)
問合せ●大津市文庫交流会
TEL077-525-7496(乾)
大津市立図書館
TEL077-526-4600

第7回子育て講座
「子育て自分育て」
3月15日(木) 10:00~

講師●山本瑛子さん

場所●県立女性センター
参加費●無料(保育あり/300円要予約)
問合せ●己子コミュニケーション「ウイズ」
TEL0748-33-8713(杉本)
NPO子どもネットワークセンター
天気村 TEL077-567-7868

日本NPO学会第3回年次大会
3月18日(日)~20日(火)

場所●京都産業会館シルクホール、池坊短期大学、キャンパスプラザ京都
問合せ●日本NPO学会事務局
TEL/FAX06-6850-5643

瀬沼克彰先生講演会
「考えよう、自由時間!!見なおそう、生涯学習!!」
3月25日(日) 14:30~

場所●野洲文化ホール
問合せ●淡海生涯学習インストラクターの会
TEL0748-32-6610(楠亀)

第7回びわ湖問題講演会
講演「びわ湖と鮎寿司」
4月22日(日) 15:00~

講師●鮎寿司「喜多品」当主・北村真一氏
場所●大津市生涯学習センター視聴覚室
問合せ●びわ湖の水と環境を守る会
TEL077-524-6860(西田)

参加者募集

びわ湖バレイ自然塾

(1)びわ湖バレイ自然塾塾生募集
毎月第2土・日曜日
内容●自然にふれ、里山保全に参加し楽しむ。自然大好きの人ならだれでも。野焼き陶芸教室、ピオトープクラブ、棚田発掘調査隊、木工細工のきつつきクラブなど。
年会費●不要。但し里山保全募金1口5000円、1口以上。各種の行事、クラブに優先参加できる。
応募方法●クラブ、教室名のほか住所・氏名・年齢・電話番号をはがきかFAX(077-592-1532)へ。
締切●3月31日必着
(2)水と大地と炎の祭典スタッフ募集
内容●夢~舞めんと滋賀のイベントスタッフ。ボランティア活動で月1~2回。里山保全と野焼き土器制作、イベントに興味がある人
応募方法●「里山保全」「土器など

の創作活動」についての意見を300字ほど、住所・氏名・年齢・電話番号をはがきか
FAX(077-592-1532)へ。
締切●3月31日必着
問合せ●びわ湖バレイ自然塾
TEL077-592-1156
〒520-0514 志賀町木戸1547-1

お知らせ

「びわ湖NPOネット」HP開設

内容●湖沼会議市民ネットでは、滋賀県内NPO情報ホームページ「びわ湖NPOネット」を開設しました。
・県内の市民団体であればジャンルを問わず、活動内容や連絡先などを登録・PRできます。
・団体登録後は、ボランティア募集情報やイベント情報をホームページ画面に掲載・編集できます。
・また、登録・掲載された滋賀県内の市民団体の活動内容やボランティア情報、イベント情報などを閲覧・検索できます。
・利用無料
<http://www4.eco-mus-unet.ocn.ne.jp/biwako2/>
問合せ●湖沼会議市民ネット
TEL/FAX 077-561-2124(折目)

日本初 バリアフリー
観光イチゴ園3月17日開園予定

イチゴが空中で大きくなるから土もつかず病気も出ないので洗わずに食べられます。
イチゴ園内へはお車から車椅子のまま入園しイチゴ狩りが楽しめます。
問合せ●観光イチゴ園「サンシャインヴィレッジ」(栗東町十里378)
TEL090-1487-7406(寺田)
FAX077-552-3245
※生育によってイチゴ狩りができない日もありますのでご了承下さい。

「情報の玉手箱」淡海ネットワークセンターホームページ

センターのホームページでは、センターの紹介、「おうみネット」バックナンバー、県内外の市民活動に関する様々な最新情報や助成金情報を掲載しています。また、県内外のNPOサポートセンターや市民活動団体などにリンクしています。情報を得たいときは、ぜひご活用下さい。
URL●<http://www.biwa.ne.jp/ohmi-net/>

あなたが参加してみて感じたこと、気が付いたことをお待ちしております。

3月・4月 伝言板



伝言板で掲載できなかった情報は
センターのホームページに掲載しています。
URL●<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net/>

イベント

**かわらミュージアム
企画展「群」(むれる)**
3月3日(土)～5月6日(日)

内容●粘土とヨシを使ってびわ湖の
環境を考える企画
会場・問合せ●かわらミュージアム
TEL0748-33-8567

**第52回ライブラリーコンサート
「ジャズの愉しみ」**
3月17日(土) 19:00～

会場・問合せ●甲西町立図書館
TEL0748-72-5550

2001年滋賀の食事(くいじ)博
3月10日(土)11日(日)2日間

会場●滋賀女子短期大学
◇第1部 リレー講演シンポジウム
(10日13:30～)

◇記念講演(11日10:00～)
講師/嘉田由紀子/京都精華大学
「アフリカ・湖と食-湖とともに生きる
人々から学ぶ」
◇十周年記念表彰式「子どもが描く
おばあちゃんの料理」「アイデア食品」
「研究会会員表彰」
◇展示・試飲・販売・お楽しみコーナ-
(11日10:00～)
参加費●入場無料
問合せ●滋賀の食事文化研究会事
務局(堀越)
TEL/FAX077-537-7807
(FAXでお願いします)

ビデオシアター「カラーパブル」
毎月第3土曜10:00～ 14:00～

場所●県立女性センター視聴覚室
※託児あり(要事前連絡)
問合せ●県立女性センター
TEL0748-37-3751

**東近江創作ミュージカル第5弾
「エピソード」-そして伝説へ-**
3月10日(土) 18:30～
11日(日) 14:00～

場所●近江八幡市文化会館
入場料●前売1000円 当日
1500円
問合せ●東近江創作ミュージカル
事務局TEL0748-23-3280
(土日祝)090-9716-9187

しずくの再会!
「福井・三重・滋賀
市民活動フォーラム」
3月18日(日) 13:30～

場所●立命館大学びわこ・くさつキ
ャンパスローム記念館5階
参加費●4000円(会議・交流会)
500円(会議のみ)
問合せ●077-561-2393(林田)

**生まれ!滋賀の元氣じるし
～滋賀の市民ネットワークフォーラム～**
3月24日(土)25日(日)

場所●ピアザ淡海ほか
問合せ●特定非営利活動法人しみ
んふくし滋賀
TEL077-586-2588

**プロ&アマ人形劇上演
びわこ2001人形劇まつり
inあかね**
3月25日(日) 10:30～

場所●蒲生町あかね文化センター
入場料●前売400円 当日500円
問合せ●蒲生町あかね文化センタ-
TEL0748-55-0207

**ふしぎな花俱樂部
“牛乳パックのはがき作り”**

(1)3月9日(金)～11日(日)9:00～
(2)3月23日(金)～25日(日)
場所●(1)県立女性センター展示

おうみネット★FAXアンケート

「おうみネット」では、誌面のより一層の充実をめざして、読者アンケートを実施します。
みなさまのご意見やご感想を積極的に誌面に反映していきますので、ぜひご協力ください。
3月末までにご回答いただいた方には抽選で図書券を贈呈いたします。
あなたの声をお待ちしております。

- A どこで「おうみネット」を入手されましたか
- B 今月号全体の印象とその理由をお聞かせ下さい
- C 関心をお持ちになった記事とその理由をお聞かせ下さい
- D 今後本誌で取り上げたらよいと思われるテーマや市民活動団体・グループをお聞かせ下さい
- E その他、ご意見、ご提案をお聞かせ下さい

ご協力ありがとうございました

新たに「おうみネット」の郵送をご希望される方は□に印をし、センターまでお申し込み下さい

「おうみネット」の郵送を新規に申し込みます

住所 〒	TEL.
氏名	活動されているサークルがあれば教えてください

助成金情報

まちづくり助成金・ アウトドアクラスルーム 事業登録募集

まちづくり助成対象

(1) 郷土の遺産の保存・活用 (2) 郷土の民話、伝統芸能、技術、工芸の伝承と後継者の育成 (3) 地域の自然環境の改善 (4) 地域の生活環境・都市景観の改善 (5) まちづくり市民意識の高揚に資する活動

応募方法 ●所定の交付申請書と必要書類を添付して、所定の期限までにまちづくり助成金係まで郵送

提出期間 ●3月1日～31日(必着)

アウトドアクラスルーム事業登録

申請し登録された団体・グループには「まちづくり市民財団登録事業」の証を発行し、以下の助成を行います。(1) 企画書、記録費として10万円交付 (2) 必要に応じ企画等の相談を受けることができます (3) 関係情報誌等で優秀事業の発表をする予定です

対象となる活動 ●(1) 将来のまちづくりを担う子ども達が参加して実施される事業であること (2) いろんな仲間とつくりあげていく楽しみを育む事業 (3) パートナーシップの精神で、できるだけさまざまな人たちの参加があること (4) 単なるガーデニングや個人的喜びに終わるものでなく、まちの景観づくりを通じ共にまちづくりの素晴らしさを体感できる事業であること (5) 継続事業であること

登録方法 ●所定の交付申請書と必要書類を添付して、所定の期限までにアウトドアクラスルーム事業登録係まで郵送

提出期間 ●3月1日～31日(必着)

応募・問合せ ●(財)まちづくり市民財団

〒102-0093 千代田区平河町2-14-3

日本青年会議所会館内

TEL 03-3234-2607 FAX 03-3234-5770

平成13年度 「川に学ぶ」活動助成募集

内容 ●市民団体等が河川・海岸等の水辺で行う自然体験や環境教育等の活動に対し助成

応募の条件 ●市民団体、学校等の非営利団体による公益的な活動を対象

助成対象活動 ●(1) 河川・海岸等の水辺をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動 (2) 河川・海岸等に関するセミナーやスクールの実施、情報の提供活動※河川清掃等は非対象

応募方法 ●当センター所定の応募用紙にて

応募締切 ●4月27日(金) 必着

応募・問合せ先 ●財団法人リバーフロント整備センター「川に学ぶ」活動助成事業事務局

担当:研究第1部 丸岡、堀口、小笠原

〒102-0075 千代田区三番町3-8 泉館三番町3F

TEL 03-3265-7121 FAX 03-3265-7456

URL <http://www.rfc.or.jp/>

平成13年度 安田火災記念財団 社会福祉助成募集

対象 ●社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体。但し平成13年度中に設立認証申請を行うことを原則とする。

活動内容 ●障害者、高齢者の主として在宅福祉に関する活動

助成金額 ●1団体30万円

資金使途 ●法人設立に関する費用

申込方法 ●所定の申込書に記載の上、4月16日(月)(当日消印有効)までに提出

問合せ ●〒160-8338(住所記載不要) 安田

火災記念財団 社会福祉助成係

<http://www.yasuda.co.jp/foundation/13nendo.htm>

3nendo.htm

編集後記

■おとなしそうな菊井館長がヨシ笛の話になるととても雄弁に。お宝のヨシ笛を自慢げに見せて下さった時は子供のようにかわいくて、奥様ってどんな人?なんて思ったのは私だけかな。でもヨシ笛の音色はとってもステキでした!(編集V/松井)

■「手間をかけた家庭料理」新米主婦には耳の痛い言葉です。便利な材料に慣れ、本来の調理方法が分かりません。調理技術は、本だけではなかなか身につかないから、料理講習会でも行うのかな。でも私の夕食はいつも一人。忙しい夫を持つと料理の腕も上がらないって。(編集V/清水)

■ネットワークの意味について、取材の中で非常に示唆に富むことばを聞きました。「ネットワークとは、つなぐことも大事だが、もっと大事なのは、個々の主体性を尊重し、ワーク(行動)するレベルにまで持っていくこと」であると。まだまだ知り合うことで満足している私には、遠い道のりに思えました。(事/川勝)

■私事ですが、8月に男児を出産しました。現在は、育児休業を取得し、センターの仕事を手を休ませてもらって、初の子育てに挑戦しています。「せっかくの休みだから、あれもしたい、これもしたい」と思っていたのですが、実際は彼の相手で1日が終わってしまい、彼が寝るとぼっとする毎日です。最初は泣くだけでどこか病気が?とびびびしていましたが、ようやくこの頃少し慣れ、「おうみネット」やいろんなニュースレターも読めるようになってきました。この夏からは子育てと仕事の両立の挑戦です。市民活動のように楽しい気持ちを失わないようにやっていければと思っています。(事/福田)

■フォーラム記録集好評発売中!■

昨年10月1日、おうみ市民活動屋台村においておうみ未来塾の研究活動の一環として開催しました、フォーラム「地域通貨ってなに?」の記録集が完成しました。地域通貨をちょっと勉強したい人や全国の先進事例であるピーナツやおうみの事例を知っていただくのに最適な教材です。1冊700円・発行責任/おうみ未来塾・ブレイクスルーデザイン 問合せ●0749-62-4611(辻川)

お知らせ

■おうみ未来塾

第1期生グループ研究報告会■

日時:3月11日(日)13時~

場所:ピアザ淡海県民交流センター
207号会議室



淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net/>

■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)

火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日、祝日/9:00~17:00

●淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。もし、手に入りくい場合は、10ページにある申込用紙によりセンターまでお申し込み下さい。

・各県事務所、県情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、女性センター、文化産業会館、陶芸の森、草津コミュニティ支援センター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、さくらホール、滋賀銀行、郵便局(ボランティア貯金窓口)、公民館など

